新しく有権者となって

大森京子

全国百八十九万人という数多い成人者の中に、私も又、その一人として、大人として認めて頂き、選挙権を得ることが出来ました。成人と認められた今、うれしいような、恐しいような、一度に責任がおおいかぶさって来たような、今までの自分とは変りないのだけれど、その「責任」という一つが何か重い感じですぐ目の前に県会の選挙があります。

このように選挙のあるたびに、違反だ、違反だ、とさわいでいますけれど、私達のえらんだ政治家は、私達の代表であって、私達一人一人が政治を行ない、国づくり、県づくり、村づくりをしているのだと思います。そんなことは、お金で買収したり、買収されたりする人だって、一寸考えればすぐわかることだと思いますが、いつの選挙にも、あとをたたないのはどうしたのでしょう。このように、一人でもまちがった投票をすることによって、初めは目に見えないような一寸したあやまりでも、やがては国の、県の、村のどこかに、大きな故障が起きてくる素（もと）であろうと思います。

お金で買収したり、買収されたりする人達は、お金だけで、国を、県を、村を治めることしか考えることの出来ない、あわれな人です。それがやがて私達の生活に大きく悪く響いてくるのではないでしょうか。

子供達も選挙時節になると「公明選挙」を大人達に呼びかけてくれます。私も今までは、この呼びかける側にいたのですが、今度は呼びかけられる側になったのであります。

こんどこそ、自分のやることに責任と反省力のもてる大人に成りたいものと、心に誓っています。

今年は選挙の年といわれています。立派な政治の出来る正しい人を、私達の力で、私達の代表として、送れるよう、私の清い一票をささげる決心です。

若人、われ等

田中文雄

進もうよ、われ等若人。今し有権者と認められ、何にもまけずに、ひるまずに、山の様に海の様に空の様に高く、広く、はてしなく、皆の期待を背に負うて、根の限り、楽しい、明かるい国造りにつくそうよ。

今年成人式を迎えられた人から寄せられた感想文を掲載しました。

青年学級も一歩前進

青年学級とラジオ農業学校は、表裏一体だ。という形をとって、三年目を迎えました。六十名の生徒と事務局が、がっちり手を組んで二年目のジンクスも無事に乗り越え、初めての卒業生？を送り出すわけですが、どっこい待った……。一番たちの勉強には、卒業がない……。」

「折角、できかけた仲間関係を、ここで止めてしまうのはもったいない。」

「私たちは、もっともっと多くの仲間と知り合って、楽しく充実した青春時代を過したい。」

こんな青年たちの声をもとにして、青年学級を再編成することになりました。

ラジオ農校生募集

中学校および高等学校を卒業し、あらたに農業に従事する青少年に対する農業の基礎技術を習得させ、明日への農業発展をはかる事はきわめて重要である。

これらの青少年に対し、ラジオおよび農業改良普及組織を活用して、新しい農業技術を広く、かつ系統的に浸透させ、農村青少年の資質向上をはかるため、次の通り、ラジオ農業学校の生徒を募集します。本庁経済課（電話一、〇四二番）へ連絡下さい。

申込期日　三月二十五日

農業学習を主にした青年学級です。

「農業に関する基礎的な、或いは専門的な知識技術を身につける。」

これは、青年学級やラジオ農業学校の表面に表われる大きな目標ですが、内面に含まれるもう一つのねらいは、

「青年一人一人では出来ないことを、共同の力で経験して、成人になるための躍（かて）にしよう。」

そうです。そこにほんとうの魅力があるのだと信じています。

現在、公民館で考えている青年学級は、年間二十日位、時間にして約一〇〇時間位を予定しています。

ラジオ農業学校修了者は勿論、男女青年のみなさん、僕には僕の、君には君の夢がある。その夢で、二十日間一〇〇時間では収め切れない位に盛り上げてくれませんか。

参加希望者は、三月二十五日までに、公民館へ連絡して下さい。

間瀬の青年学級も

地味ながらも、根強く、学習を続ける間瀬の青年講座。昭和三十八年度は、間瀬青年学級として、一段飛躍の年にしようと、予算その他の条件を整備しています。里で、浜で行なわれる、これら青年のための学習活動が、青年団を強力な支えと大人の深い理解で、続けられることを願っています。くわしくは、公民館へおたずね下さい。

○一般学習

(イ)昭和三十七年度中学校卒業生

(ロ)その他希望農村青少年

○専門学習

(イ)昭和三十七年度の一般学習修了者

(ロ)その他農業後継者で中卒後三年以内の者

青年団役員決まる

二月二十四日に開かれた理事会で、次の通り役員が決まりました。

団長　中村栄一（高畑）

副団長　後藤秀信（橋本）

総務委員長　宝輪睦雄（間瀬）

文化委員長　金子光威（橋本）

体育委員長　山田守（西中）

生産生活委員長　山田勝栄（西中）

事務局　田中信雄（橋本）　稲葉勇（金池）

山岳会だより

第二回目の集会を次の通り開きます。

入会希望者は当日おいで下さい。会則及び会員名簿、山行計画書をさし上げます。

尚当日は文部省推せんカラー映画「尾瀬」岩波映画「遭難」の映写を予定しております。

期日　三月十六日（土曜日）午後一時三十分

場所　和納小学校理科室

学級通信

岩室地区婦人学級

六月十五日開講した岩室地区婦人学級は、三月五日をもって昭和三十七年度の学習活動を一応終り、午後一時三十分から岩室中学校で閉講式を行ない、今迄の反省と今後の計画等についての話し合いを行なう。

間瀬地区婦人学級

三月八日午後七時三十分から間瀬支所で閉講式を行ない、今年度の反省と新年度の希望についての座談会が持たれる。

和納地区婦人学級

◎三月六日（午後一時三十分から）

○農業講座（小学校）

野菜作りの合理化のために「我が家の経営と野菜作りについて」のまとめを、普及員から指導を受け、農業講座の学習を終る。

○生活講座（小学校）

「新聞、雑誌に出てくる外来語について、時の問題を学びながら解説を聞く。講師は和納小学校講師橋先生。

○調理講座（中学校）

食生活推進委員が中心になり「日常生活に役立つ調理」を学ぶ。

◎三月十五日（小学校）

○閉講式（記念講演）

午後一時三十分から小学校で閉講式を兼ね、大井一星先生を迎えて記念講演会を開く。

ラジオ農業学校

三月五日午前九時から、本庁で集合研究会を開く。

○一般学習

稲叡の準備及び苗代について、普及員から指導を受け、午後は東北電力営業所の御厚意協力で「電気器具の正しい扱い方」について知識を深める。

○専門学習

午前は土壌調査について普及員から実技の指導を受け、午後は一般学習と合同し、電気器具についての学習を行なう。

○三月二十二日修了式

午前九時から本庁で修了式を行ない、修了証書の交付及び専門学習生を送るパーテーを開き、正午散会する。

あとがき

○満般ある会議で広報いわむろに対する建設的な御高説を承った。"いうは易く、行うはむつかし"。

○三月は官庁では年度末。四月からは一層親しまれる広報の発行を予定し、村民各位からの明かるい話題の寄稿をおまちいたします。（福田）